


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年2月9日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	9番	児玉 洋一	
件名	スマートICを拠点としたまちづくり計画を				
要 旨					
<p>(仮称)山北スマートインターチェンジ(以下、山北SIC)は平成26年度から工事を開始し、当初予定では令和2年度の完成を予定していたものの、工事内容の変更等により令和5年度に工期延長が発表されました。</p> <p>実質、3年ほど工期が遅れることとなりますが、山北SIC完成後の周辺土地利用構想を含め、これまでここを拠点とした具体的な利活用計画が示されておりません。</p> <p>山北SIC開通により、交通利便性向上はもちろん、観光交流人口の増加や企業活動の活性化、救急医療や災害支援の迅速化など、当町や県西エリア広域的に多くの効果が期待できることから、山北SICを拠点とした具体的なまちづくり計画について、以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none">道の駅「山北」の拠点整備に関して、平成30年12月議会の一般質問において、町長は今後、国・県との調整・協議を進めると答弁されているが、現在までの進捗と町としての展望は。訪れる観光客やハイカー向けに、道の駅「山北」を拠点とした県立山北つぶらの公園や大野山までのハイキングコース及び案内板などの整備を進める考えは。山北SIC周辺地域における土地利用構想には、広域交通利便性の観点から、中川温泉で止まることなく山梨県道志村や箱根町など南北へ抜ける幹線道路の計画も盛り込むべきと思うがどうか。					

4. 周辺土地利用構想という全体像だけではなく、清水地区や三保地区など地区別計画として位置づけ、詳細に計画を進めていく考えは。
5. 丹沢湖エリアへ来訪客を呼び込むために、令和2年度で廃校になる三保小学校の跡地利用は、老朽化の進む支所機能を校舎1階に移転し、2階3階には、地域コミュニティスペースや企業誘致、また給食調理室やランチルームでは、ジビエ料理が提供できる食堂など、複合型施設として管理運営していくなどの考えは。

以 上